

			部会名	暮らし部会	
施策No.	2-5-1	施策名	地域福祉の推進	施策主管課	地域福祉課
施策の目指す姿	地域の住民が共に助け合って生活しています				
<b>■ 施策評価シート(令和3年度実績評価)について</b>					
<p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について</p> <p>「福祉の相談窓口の周知方法として、予定していたSNSの活用には至らなかった」とあるが、その理由に関する言及(たとえばコロナ対応のためにSNS活用体制に人員を割けなかったことなど)があれば良かった。「福祉ボランティア活動の参加者や活動件数の減少は」の記述はいささか唐突に出てきたような印象を受ける。その取り組みである懇談会等の開催がコロナ禍の影響で十分できなかったことが書かれていれば、そうした印象をもたなかったかもしれない。全体的に、当該年度はコロナ禍における対応という特別な事情があり、多くの事業は当初の計画どおりに行うことが困難となったことから、方向性に対する反映状況には、「・・・するに至らなかった」あるいは「・・・する必要がある」のように、いわば「反省」のような書き方にならざるをえなかったのは気の毒である。</p>					
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について</p> <p>当該年度の達成状況に関する市民アンケート結果をもとにした背景や要因の分析はおおむね的確になされていると考えられる。欲をいえば、ここ数年、達成度「B」という状況に変化がないことについての、何らかの考察があればさらに良かった。ちなみに、今後、成果指標とその達成状況に関する背景や要因などの分析をよりの確に行おうとするならば、成果指標となる現行のアンケート設問項目やその内容等の検討も必要になってくるかもしれない。</p>					
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」について</p> <p>「施策を構成する事務事業一覧」の「直結度」や「成果」などを踏まえた内容となっている。</p>					
<p>「5 施策の総合的な評価」について</p> <p>おおむね、現状と課題をふまえた総合的な評価となっている。全体的に方向性としては理解できるが、可能であればもう少し具体的な取組内容に触れられるようであれば、さらに良かった。</p>					
<p>●シート記載内容全般について</p> <p>(シート記載内容ではないが)今回からヒアリングに担当部長さんが入ることになり、質疑がより充実したものとなった。また部会に際し、事務局から「施策評価シート」をA3版に拡大コピーして配布してもらった。読みやすく助かった。良い配慮である。</p>					